

平成 28 年度ふるさと発掘展
「大中遺跡「再」発見！－東播磨の弥生遺跡－」のみどころ

県立考古博物館に隣接する播磨町郷土資料館を会場に、大中遺跡及び東播磨の弥生時代遺跡の出土資料を展示するとともに、シンポジウムでは大中遺跡が史跡公園として活用され続けている姿にもスポットを当てます。

会 期 平成 29 年 1 月 21 日（土）～平成 29 年 3 月 20 日（月祝）
会 場 播磨町郷土資料館（加古郡播磨町大中 1-1-2）
主 催 兵庫県立考古博物館、播磨町郷土資料館
協 力 ひょうご考古楽倶楽部

《概要》

これまで 24 回行われた大中遺跡の調査成果を集成し、現時点での大中遺跡像を明らかにすることを目指しています。県・町が所蔵する代表的な遺物を紹介するとともに、調査された竪穴住居全ての図面を公開します。また、大中遺跡だけではなく、周辺市町の弥生遺跡の遺物も展示します。

展覧会で、調査された竪穴住居の形態や構造を再検討した結果、工房と考えられる竪穴住居が数多く含まれていることが明らかになり、大中遺跡は水田耕作中心の集落ではなく、イダコ壺漁や物づくりを行った集落と考えられます。

また、土器も従来考えられていたよりも、より新しい時期に集中しており、大中遺跡は短期間に集中して営まれ、終焉を迎えた大集落であったことが判明しました。

ただ、突然集落が廃絶した理由は依然不明で、大中遺跡の実態を解明するにはまだまだ課題が残されています。

◆シンポジウム「大中遺跡再発見」

2 月 18 日（土）13:00～16:30（当日 12:30～整理券配布）

会場：兵庫県立考古博物館 講堂 定員：120 名 参加無料

基調講演・コーディネーター：石野博信（兵庫県立考古博物館名誉館長）

パネラー：浅原重利（播磨町文化財審議委員長 大中遺跡発見者）

上田哲也（元東洋大学付属姫路高等学校教諭 大中遺跡調査担当者）

山本三郎（日本考古学協会員 大中遺跡調査担当者）

◆講演会

会場：兵庫県立考古博物館 講堂 定員：120 名 参加無料（当日 12:50～整理券配布）

●1 月 21 日（土）13:30～15:00

「東日本社会からみた新しい弥生時代歴史像」寺前直人（駒澤大学 准教授）

●2 月 25 日（土）13:30～15:30

「加古川市美乃利遺跡の調査」山中リュウ（加古川市教育委員会）

「明石市魚住住吉遺跡の調査」飯田真理子（明石市文化振興課）

※詳細はチラシをごらんください。

問い合わせ

兵庫県立考古博物館 学芸課 担当：鐵 英記（くろがね ひでき）

TEL 079-437-5562（学芸課直通）



平成 28 年度兵庫県立考古博物館ふるさと発掘展
大中遺跡発見55周年記念播磨町郷土資料館企画展

大中 遺跡 再 発見



2017年

1月21日(土) >>> 3月20日(月・祝)

播磨町郷土資料館

入館無料

兵庫県加古郡播磨町大中1丁目1番2号 TEL: 079-435-5000

開館時間: 午前9時30分から午後5時まで

休館日: 月曜日(3/20月・祝は開館)



東播磨の弥生遺跡

主催: 兵庫県立考古博物館 播磨町郷土資料館
協力: ひょうご考古楽倶楽部

ふるさと発掘展は、兵庫県立考古博物館が県内各地の歴史系博物館、資料館、埋蔵文化財センターとのネットワーク化を推進するために実施している総合的な埋蔵文化財活用事業です。今年度は東播磨地域を会場として、考古博物館が位置している大中遺跡に改めてスポットを当てます。

昭和37年に発見された大中遺跡は、史跡指定され、史跡公園として整備されました。また、ガイダンス施設として播磨町郷土資料館が開設されるとともに平成19年にはサイトミュージアムとして兵庫県立考古博物館も開館しました。

今回の展示では、大中遺跡の出土資料を展示するとともに、その活用の歴史を振り返り、引き続き地元へ愛される大中遺跡であり続けるための方策を探ります。



大中遺跡再発見!

平成28年度兵庫県立考古博物館ふるさと発掘展
大中遺跡発見55周年記念播磨町郷土資料館企画展

東播磨の弥生遺跡

2017年

1月21日(土)

3月20日(月・祝)



1/21
(土)

13:30~15:00

「東日本社会からみた新しい弥生時代歴史像」

講師：寺前直人(駒澤大学 准教授)

2/25
(土)

13:30~15:30

「加古川市美乃利遺跡の調査」

講師：山中リュウ(加古川市教育委員会)

「明石市魚住住吉遺跡の調査」

講師：飯田真理子(明石市文化振興課)

いずれも

会場：兵庫県立考古博物館 講堂

定員：先着120名(整理券配布は12:50~) 参加費：無料

「大中遺跡再発見」

会場：兵庫県立考古博物館 講堂

定員：先着120名(整理券配布は12:30~) 参加費：無料

基調講演・コーディネーター

石野博信(兵庫県立考古博物館名誉館長)

パネラー

浅原重利(播磨町文化財審議委員長 大中遺跡発見者)

上田哲也(元東洋大学付属姫路高等学校教諭 大中遺跡調査担当者)

山本三郎(日本考古学協会 大中遺跡調査担当者)ほか

播磨町郷土資料館

兵庫県加古郡播磨町大中1丁目1番2号

TEL: 079-435-5000

<https://www.town.harima.lg.jp/kanko/>

JR

「土山駅」南口から「であいのみち」を徒歩15分

山陽電車

「播磨町駅」北口から喜瀬川沿いに徒歩20分

自動車

第2神明・加古川バイパス「明石西(土山)IC」から国道2号線を西へ約3km(播磨町営駐車場 料金1回200円)



28教③-008A4